

2025年8月23日

参加団体 各位

登別市水泳協会
(日胆選手権水泳競技大会実行委員会)
会 長 福 地 伸 一
(公印省略)

第44回 日胆地区選手権水泳競技大会に係る競技役員委嘱について

晩夏の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より当実行委員会および当協会の事業に対し、格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。先にご案内のとおり、このたび標記競技会を来る9月7日(日)に、登別市民プール“らくあ”にて開催することになりました。

つきましては、貴団体より推薦いただいた方を別紙に記載しております競技役員に委嘱いたしますので、諸事ご多用とは思いますがご連絡を宜しくお願いいたします。

記

期 日 2025年 9月 7日(日)

日 程	指定競技役員入館	6時45分	
	競技役員受付	7時15分	
	主任会議	8時00分	※トレーニングルーム
	全体打合せ会	8時10分	※トレーニングルーム ※終了後係別打合せ会
	開 会 式	9時00分	
	競 技 開 始	9時15分	
	競技終了(予定)	15時26分	
	閉会式・表彰	15時35分	
	後 片 づ け	15時45分	※終了後解散

会 場 登別市民プール“らくあ”(25m×7レーン)

北海道登別市幸町1丁目5-2

- 連絡事項
- (1) 有資格者は、日本水泳連盟公式ユニフォームを着用してください。(ネームプレート必要)。無資格者は、白色のポロシャツ。下は黒色または紺色のまたは紺色のズボンを着用してください。靴は白色の運動靴とします。
 - (2) 日本水泳連盟「競泳競技規則 競技役員(競泳)の手引き 2023-4-1」を確認のうえ、ご出席ください。
 - (3) 主任(副)以上の方は、競技役員主任用連絡事項を熟読のうえ、ご出席ください。
 - (4) 競技役員には、日当3,000円と昼食弁当をご用意します。
 - (5) 役員控所は、トレーニングルームです。休憩・食事等で利用してください。
 - (6) 都合で出席できない場合は、必ず代わりの方を出席させてください。
 - (7) 駐車場利用の際は、係員の指示に従ってください。
 - (8) 指定競技役員は、審判長、副審判長、機械操作、コンピュータ、通告員、競技役員係です。

ご不明な点は、下記までお問い合わせください。

登別市水泳協会
理事長 当競技会 審判長 本田 利幸
携帯 090-6695-0504

第44回日胆地区選手権水泳競技大会二次要項



日胆地区選手権水泳競技委員会
主管：登別市水泳協会

参加チーム数、参加人数は、19チーム、313名(男子167、女子146)、832種目(男子448、女子384)になりました。

競技会がスムーズに運営され、参加選手がベストパフォーマンスを発揮できますよう参加チームにおかれましてはご配慮・ご協力をお願いいたします。

〔会 場〕 登別市民プール “らくあ” (25m×7レーン) 公認再 2864

北海道登別市幸町1丁目5-2

〔日 程〕 2025年9月7日 (日)

- ・ コーチ入館 7:00
- ・ 参加チーム受付 7:00
- ・ コーチミーティング 7:10 ※1階ロビー (各チーム代表者1～2名の出席を
(選手席場所割り) お願いします)
- ・ 選手入館 7:15

各入館時間は会場の準備状況・天候等により多少前後します。予めご承知おきください。

- ・ ウォーミングアップ

1・2・3レーン 男子のみ使用
5・6・7レーン 女子のみ使用

〔メインプール〕

- 全レーン 7:25～ 8:40 ※安全のため足から入水してください。
- うちペースレーン 7:25～ 8:40 4レーン ※クロールのスイムのみ利用とします。
※パドル・フィン他パワーコード類の使用を禁止します。
※ダッシュ練習を禁止します。
※400m以上の自由形種目出場者のみとします。
- ダッシュレーン 7:50～ 8:10 男子:2、3レーン ※スタート側からの一方通行とします。
女子:6、7レーン ※スタート側からの一方通行とします。
- 公式スタート練習 8:10～ 8:30 男子:1、2、3レーン ※スタート側からの一方通行とします。
女子:5、6、7レーン ※スタート側からの一方通行とします。

- 〔サブプール〕 7:25～閉会式開始時間まで ※開会式時間を除きます。
※安全のため足から入水してください。
※パドル・フィン他パワーコード類の使用を禁止します。

- ・ 開会式 9:00
- ・ 競技開始 9:15
- ・ 競技終了(予定) 15:26
- ・ 閉会式、表彰 15:35
- ・ 届出締切り時間 プログラムの訂正用紙 8:00 まで 棄権用紙 該当競技の開始1時間前まで

■進行上の注意

1 競技方法について

- (1) (公財)日本水泳連盟競泳競技規則に則り行います。
- (2) 男女とも年齢区分別の個人競技とします。
- (3) 各種目ともタイムレース決勝とします。
- (4) 競技は20分以上繰り上げないことを原則とします。

2 選手への指導事項

- (1) 商標規定の対象は、「招集所出口から競技終了後退場までの間」とします。
- (2) スタート前のレーンでの水浴びは禁止します。招集所出口に設置の水浴び用バケツを利用してください。
- (3) 出発の号令は「Take your marks」で行います。
- (4) ゴールタッチはタッチ板の「有効面」に正しく行ってください。
- (5) レース後の退水について～オーバー・ザ・トップスタート方式～
 - ①個人競技の場合、ゴールタッチした選手は壁やレーンロープにつかまり、次の組がスタートしてから自分のレーンから退水してください。但し、背泳ぎ・最終組は自分のレーンから直ちに退水してください。

3 招集について

- (1) 招集用の掲示板（モニター画面掲示）により競技開始の20分前から、サブプール横の招集所で行います。
- (2) 競技の進行状況を確認の上、くれぐれも招集に遅れないよう注意してください。遅れるといかなる理由であれ棄権扱いとなります。

4 プログラム訂正用紙・棄権用紙の提出について

各届出用紙は参加クラブ受付で配布及び受付を行います。定められた時間までに提出してください。

5 通告について

- (1) 個人競技のレーン（選手）紹介は、前組の競技中に行います。但し、50m種目は行いません。
- (2) 競技結果の場内通告は行いません。但し、新記録と失格者の通告は行います。尚、競技結果（速報）は公式掲示板（1階ロビー）および有限会社東洋電子システムHP (<https://www.tdsystem.co.jp/>)にてご確認ください。

6 表彰について

- (1) 男女・年齢別の各種目3位まで表彰状を贈ります。
- (2) 最優秀選手賞を日胆地区加盟の参加団体より1名選出します。
- (3) 努力賞を日胆地区加盟の参加団体より選出します。
- (3) 参加者全員に記録証を贈ります。

7 各賞受賞者の招集について

最優秀選手賞・努力賞の受賞者は、全競技終了後館内通告により招集します。通告後、直ちに招集所にお越しください。

■連絡事項 本競技会は無観客開催にて行います。

1 選手控所・一般席・飲食・喫煙・施設上の注意について（別紙：会場・アリーナ全景参照）

- (1) 選手控所はプールサイドの指定場所と1階会議室・休憩室・2階研修室・2階キッズコーナーおよび2階ギャラリーです。各チーム譲り合って使用してください。
- (2) 飲食は1階ロビー・2階ギャラリー及び選手控所（プールサイドを除く）で行ってください。プールサイド・ロッカー室での飲食は行えません。
- (3) 喫煙は敷地内禁煙となっております。
- (4) 施設内は土足厳禁及び上履きの使用も禁止されています。入場の際は靴袋（レジ袋等）を各自持参してください。なお、シューズ・サンダル等はプールサイドのみ履くことができます。
- (5) 1階ロビー及び2階ギャラリーは水着のまま通行することはできません。
- (6) ゴミは各チーム・各自で持ち帰ってください。

2 貴重品の管理について

貴重品は個人または各チームで管理してください。ロビー・ギャラリーに置いた荷物やロッカー室内での盗難が発生しています。くれぐれも注意してください。

3 カメラ・ビデオ・携帯端末等による撮影について

- (1) 施設内で撮影できるエリアは、コーチ席・プール観客席（2階ギャラリー）のみとします。
- (2) アリーナ内での、ウォーミングアップ中における指導を目的とした監督・コーチによる写真・ビデオ撮影は認めますが、周囲への配慮や危険に注意して行ってください。
- (3) 会場内（施設内）で撮影された写真や映像をSNS等やその他の公な場に公開するためには、必ず権利者全員の許諾を公開者が受ける必要があります。権利者の許可なく掲載した場合、公開者は肖像権の侵害行為になり得ますのでご注意ください。なお、主催者側は個人間（参加団体を含む）の肖像権に関するトラブルについては一切責任を負いかねます。なお、閉会式内の表彰式のみアリーナ内での撮影を許可します。

4 駐車場について

駐車許可証は不要ですが係員の指示に従い定められた所に駐車してください。（別紙：駐車場参照）

5 引率・コーチと称し父母観覧（応援・撮影など）と同様な行為等を発見、確認した場合は退場していただく事もあり得ます。また、公認された北海道水泳連盟に報告し、ペナルティ等の措置を仰ぎますのでご承知おきください。

■個人情報の取扱について

大会に参加する際に円滑な事務作業を推進するためにチーム情報ならびに個人情報をご提出いただいております。お預かりした情報は適切かつ慎重に管理し、紛失・漏洩がないよう努め、今大会の大会運営および大会プログラム・速報作成のため使用しますが、それ以外の目的で利用することはありません。不要になったクラブ情報および個人情報書類は責任をもって廃棄いたします。

協会委託会社：有限会社東洋電子システム

ご不明な点は、下記までお問い合わせください。

登別市水泳協会

理事長 当競技会 審判長 本田 利幸

携帯 090-6695-0504



第44回日胆地区選手権水泳競技大会
連絡事項

日胆地区選手権水泳競技委員会
主管：登別市水泳協会

1. 日程・任務分担

指定競技役員入館	6:45	審判長、副審判長、機械操作、コンピュータ係、通告員、競技役員係 登別市水協スタッフ	
コーチ入館	7:00	審判長	
参加クラブ受付	7:00	競技役員係	※プールフロント前
コーチミーティング	7:10	審判長、副審判長	
選手入館	7:15	副審判長、登別水協他	
競技役員受付	7:15	競技役員係	※トレーニングルーム
主任会議	8:00	大会役員・主任(副)以上	※トレーニングルーム
全体打合せ	8:10	大会役員・競技役員。終了後、係別打合せ	※トレーニングルーム
開会式	9:00	副審判長、招集員(選手宣誓者)、通告員(音楽含)	
競技開始	9:15		
競技終了(予定)	15:26		
閉会式・表彰	15:35	副審判長、招集員(受賞者)、通告員(音楽含)、表彰	
後片付け・解散	15:45	※参加競技役員の協力をお願いします。	

2. ウォーミングアップについて

1・2・3レーン 男子のみ使用
5・6・7レーン 女子のみ使用

(1) メインプール	7:25~8:40		※安全のため足から入水とする。
ペースレーン	7:25~8:40	4レーン	※クロールのスイムのみの利用とする。 ※パドル・フィン・コード類の使用を禁止とする。 ※ダッシュ練習を禁止する。 ※400m以上の自由形種目出場者のみとする。
ダッシュレーン	7:50~8:10	男子:2、3レーン	※スタート側からの一方通行とする。
公式スタート練習	8:10~8:30	女子:5、6レーン	※スタート側からの一方通行とする。
(2) サブプール	7:25~閉会式開始時間まで		※スタート側からの一方通行とする。 ※開会式時間を除く。 ※安全のため足から入水とする。 ※パドル・フィン・コード類の使用を禁止とする。

3. 通告について

- (1) 個人競技のレーン(選手)紹介は、前組の競技中に行う。但し、50m種目は行わない。
- (2) 競技結果の場内通告は行わない。但し、新記録と失格者の通告は行う。

4. 競技について

- (1) 競技は(公財)日本水泳連盟競泳競技規則で行う。
- (2) 計時は自動審判装置(全自動)により行う。
- (3) 男女とも年齢区分別の個人競技とし、各種目ともタイムレース決勝とする。
- (4) オーバー・ザ・トップスタート方式で行う。(背泳ぎ及び最終組は除く)
- (5) 競技を棄権する場合は、参加クラブ受付に該当競技の開始1時間前までに棄権用紙を提出しなければならない。
- (6) 商標規定の対象は、「招集所出口から競技終了後退場までの間」とする。
- (7) 全て競技において5mフラッグを設置する。
- (8) 選手への指導事項
 - ① ターン・ゴールタッチはタッチ板の「有効面」に正しく行うこと。
 - ② スタート前のレーンでの水浴びは禁止する。招集所出口に設置の水浴び用バケツで行うこと。
 - ③ レース後の退水について
 - ア 個人競技の場合、ゴールタッチした選手は壁やレーンロープにつかまり、次組がスタートしてから自分のレーンから退水する。但し、背泳ぎ及び最終組は自分のレーンから直ちに退水すること。

5. 開・閉会式について

- (1) 1レーン側プールサイド中央で行う。競技役員はスタート側プールサイドにプールを向いて横隊(3列)で整列する。※入退場行進は行わない。

6. 競技役員の入退場について

- (1) 入退場行進は行わない。競技開始3分前には、配置に着いていること。
- (2) 競技開始時は、「ファンファーレが鳴ったら」その場に起立し「審判長・出発合図員の紹介」後、「審判長の手の合図」で着席する。
- (3) 全競技終了後の退場は、「ファンファーレが鳴ったら」その場に起立し「競技役員が退場します」の通告後、「審判長の手の合図」で退場する。
- (4) 競技役員の変更は、係別に整然と行うこと。

7. 競技進行について

- (1) レース間隔は40秒。(背泳ぎ+10秒)
- (2) タイムテーブル通りの競技進行とする。
- (3) 競技は20分以上繰り上げないことを原則とする。
- (4) 無線機を利用する。
ジャッジ・招集ライン 6ch 審判長=3、泳法=4、折返監察=3
招集・機械・コンピュータライン 8ch 機械=1、コンピュータ=1、招集=2
※審判長の機械、通告への連絡・指示は直接行う。
- (5) 招集は、招集用掲示板(モニター画面)により競技開始の20分前からサブプール横に設置の招集所で行う。
- (6) 脱衣籠は、招集所に置く。
- (7) 水浴び用バケツを招集所出口に設置する。
- (8) 競技結果(速報)は公式掲示板(1階ロビー)および有限会社東洋電子システムホームページ(<https://www.tdsystem.co.jp/>)にてご確認ください。

8. 係別任務要綱

(1) 泳法審判員

- ① 審判長側1名+対面1名+リザーブ1名=3名体制を基本とする。
- ② 競技開始時は、必ず15mラインに立つ。平泳ぎは浮き出し位置に立つ。
- ③ 違反の判断及び失格の判断の流れについては、(3)折返監察員⑥エ〜クと同様に行う。

(2) 出発合図員

- ① ヘッドセットマイクを使用する。予備電池を用意する。
- ② 号令は「Take your marks」で行う。
- ③ タイミングは斉一を期す。
- ④ 公式スタート練習は競技と同じタイミングで打つ。

(3) 折返監察員

- ① 主任(副)+監察員4名=5名(×3班)体制を基本とする。 **※主(副)がリザーブ兼務**
- ② 空きレーンがある場合は担当レーンを変更する。
- ③ スタート後の最初の一かき(平泳ぎは二かき)の終了まで、折返しの壁へのタッチ前の最後の一かきの始まりから折返し後の最初の一かきの終了まで、ゴールタッチ等、泳者が競技規則に従って正しく行っているかを監察する。
- ④ オーバー・ザ・トップスタート方式を採用するので、選手に対しての指導(ゴール後の水中待機・スタート後の退水)を的確に行う。
- ⑤ 違反の判断及び失格の判断の流れ。
ア 違反を確認した監察員は、主任(副)に対して片手を挙げて合図を送る。
イ 主任(副)は、無線機6chで審判長に一報を入れる。
(例=「スタート側〇〇です。アピールがありましたので向かわせませす」等)
ウ 片手を挙げた監察員は、リザーブの主任(副)と速やかに交代し、審判長の位置へ移動し違反の内容を説明する。
エ 主任(副)は、無線機6chで審判長に判断内容を説明する。
(例=「折返し側〇〇です。〇レーン、〇〇mの折返しで違反がありました。右手のみ、左手が20~30cm離れていました」等)
オ 失格の判断は審判長が行う。
カ 審判長は、直接機械操作員と通告員に失格の連絡をする。
キ 審判長の失格判断で当該監察員は、審判用紙に必要事項を記入し、リザーブの審判長に提出する。
ク リザーブの審判長は、内容の確認サインを行い通告に渡す。
- ⑥ 開閉会式前後のスタート側の5mフラッグの脱着を担当する。

(4) 記録員

- ① 全ての記録を照合する。
ア 新記録の確認。
イ PT-8000からの印字紙をプログラムに貼付する。
ウ 手動訂正の確認。

(5) 機械操作

- ① 常時2名体制とする。
- ② 着順審判員を兼務する。
- ③ 全自動装置及び半自動装置とストップウォッチで得られた記録の可否を判定する。
- ④ 1名が全自動装置のタッチ板と半自動装置のグリップからの入力に備え、競技の状況「折返し・ゴールタッチのタイミング」を声に出しながら半自動装置を監視する。他の1名は、全自動装置の操作盤のモニターランプとPCモニターを監視し、誤信号を見分ける。

- ⑤ 新記録の確認を行い、発生の場合は審判長に明確に合図を送る。
- ⑥ 信号が正しく入力された場合、審判長の「レース成立」の合図後、OKサインを返し装置のリセットを行う。
- ⑦ 装置に誤信号や信号が無かった場合は、直ちに審判長に報告し、計時主任を通じ計時員にストップウォッチ（記録）の提示を求める。
- ⑧ 失格・ライトタッチは、速やかに表示を消し、再表示しない。
- ⑨ 競技進行時間を記録する。

(6) 計時員

- ① 主任（副）＋計時員7名＝8名体制を基本とする。
- ② レーン担当はプログラムで本人確認を確実に行う。
- ③ 半自動装置のグリップとストップウォッチを持つ。
 - ア 個人競技のグリップ操作は50mごととゴール。ストップウォッチ操作は始動とゴールとする。
 - イ ゴール後、ストップウォッチの記録をレーン専用プログラムに記入する。
 - ウ ストップウォッチのリセットは、次の競技開始を知らせる審判長の長い笛で行う。
- ④ 全・半自動装置の誤信号や信号が無かった旨の指示があった場合は、ストップウォッチを主任に渡し、代わりのウォッチを受け取る。主任は受け取ったストップウォッチのタイムを機械操作に提示する。

(7) 速報、賞典

- ① 競技結果（速報）等を公式掲示板（1階ロビー）に掲示する。
- ② 配布用の用紙ケースを設置し、賞状・記録証・速報（予約分）を参加クラブに確実に渡す。

(8) 招集員

- ① 招集用掲示板機器の表示操作を行う。
- ② 招集掲示板の番号表示は無線機8chで記録席に連絡する。
- ③ 確実にレーンまで誘導する。空レーンを誤らない。
- ④ 水浴び用バケツの設置・管理を行う。
- ⑤ 商業ロゴマーク及び水着等を観察により点検し確認する。また、禁じられているテーピング等の有無についても点検・確認する。
- ⑥ 選手宣誓者（開会式内）・受賞者（閉会式内）の招集を行う。
- ⑦ 選手の入場
 - ア 個人競技の50m種目は、1組を選手席後方に待機。100m以上の種目はスタート後直ちに。400m以上の種目は、最終泳者がゴール前の200mを折返した後とする。

(9) 通告員

- ① 個人競技のレーン（選手）紹介は、前組の競技中に行う。但し、50m種目は行わない。100m種目はスタート後（選手入場後）直ちに。200m以上の種目は前組の最終泳者がゴール前の100mを折返した後とする。
- ② 競技結果の場内通告は行わない。但し、新記録と失格者の通告は行う。
- ③ 新記録の通告は、審判長の指示を受けレース成立後直ちに行うことを基本とする。
- ④ 失格者の通告は、審判用紙を待たずに審判長の指示により行うこと基本とする。通告後、審判用紙をコンピュータに渡す。

(10) 表彰

「最優秀選手賞」「努力賞」（閉会式内）の表彰式を担当する。

(11) 競技役員係

- ① 参加クラブの受付を行い、予約のプログラム・撮影許可証を配布する。
- ② 競技役員の受付を行い、出欠確認を行う。
- ③ プログラムの訂正・棄権の規程書式用紙を配布し、定められた時間まで受付を行い、コンピュータ・招集・通告に伝達する。
 - ア プログラムの訂正用紙 8:00 まで
 - イ 棄権用紙 該当競技の開始1時間前まで
- ④ 撮影者への連絡事項
 - ア 競技中の撮影は「2階ギャラリー」からとする。
 - ウ アリーナ内（プールサイド）での撮影は、「閉会式内の表彰式」のみ許可（一般者含む）する。

(12) 監視救助

- ア ウォーミングアップ時間及び競技中のライフガードは、メインプール1名・サブプール1名の2名体制を基本とする。
- イ レース中に脱落したスイミングキャップ・ゴーグル等の回収を行う。

(13) その他

アリーナ内の設営は前日にある程度行いますが、各主任においては開会式前までに終了させていただきます。なお、スタート側の設営はウォーミングアップ終了後とします。

ご不明な点は、下記までお問い合わせください。

登別市水泳協会

理事長 当競技会 審判長 本田 利幸
携帯 090-6695-0504

第44回日胆地区選手権水泳競技大会
 会場：登別市民プール「らくあ」(25m)
 期日：2025年9月7日(日)

競 技 順 序

9月7日(日曜日) 【第1日】

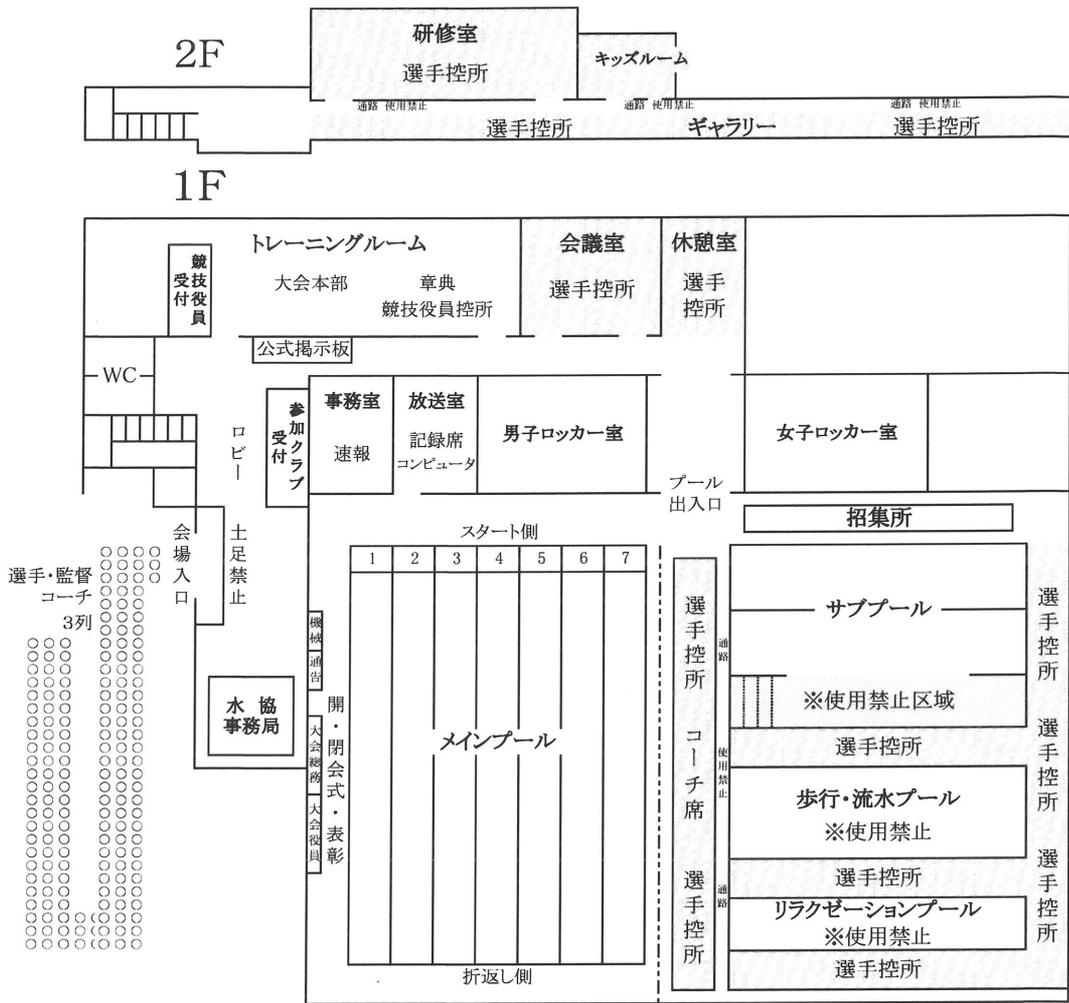
レース間隔：40秒(背泳ぎ・MR+10秒 リレー+ 0秒)							
1	女子	400m	自由形	無差別	T決勝	2組	09:15 10種目
2	男子	400m	自由形	無差別	T決勝	2組	09:26 13種目
3	女子	200m	個人メドレー	無差別	T決勝	9組	09:37 57種目
4	男子	200m	個人メドレー	無差別	T決勝	9組	10:11 60種目
5	女子	200m	自由形	無差別	T決勝	3組	10:44 18種目
6	男子	200m	自由形	無差別	T決勝	4組	10:53 26種目
7	女子	200m	平泳ぎ	無差別	T決勝	1組	11:05 3種目
8	男子	200m	平泳ぎ	無差別	T決勝	2組	11:09 10種目
9	女子	200m	背泳ぎ	無差別	T決勝	2組	11:16 11種目
10	男子	200m	背泳ぎ	無差別	T決勝	1組	11:23 3種目
11	女子	200m	バタフライ	無差別	T決勝	1組	11:27 2種目
12	男子	200m	バタフライ	無差別	T決勝	1組	11:30 7種目
13	女子	50m	自由形	無差別	T決勝	13組	11:33 91種目
14	男子	50m	自由形	無差別	T決勝	16組	11:49 109種目
15	女子	50m	平泳ぎ	無差別	T決勝	4組	12:09 22種目
16	男子	50m	平泳ぎ	無差別	T決勝	5組	12:15 31種目
休憩 53分00秒							
17	女子	50m	背泳ぎ	無差別	T決勝	3組	13:15 15種目
18	男子	50m	背泳ぎ	無差別	T決勝	5組	13:19 31種目
19	女子	50m	バタフライ	無差別	T決勝	7組	13:27 43種目
20	男子	50m	バタフライ	無差別	T決勝	5組	13:36 32種目
21	女子	400m	個人メドレー	無差別	T決勝	1組	13:43 5種目
22	男子	400m	個人メドレー	無差別	T決勝	1組	13:49 4種目
23	女子	800m	自由形	無差別	T決勝	1組	
24	男子	1500m	自由形	無差別	T決勝	1組	13:55 5種目
25	女子	100m	自由形	無差別	T決勝	8組	14:14 55種目
26	男子	100m	自由形	無差別	T決勝	9組	14:29 59種目
27	女子	100m	平泳ぎ	無差別	T決勝	3組	14:46 17種目
28	男子	100m	平泳ぎ	無差別	T決勝	4組	14:52 24種目
29	女子	100m	背泳ぎ	無差別	T決勝	3組	15:00 18種目
30	男子	100m	背泳ぎ	無差別	T決勝	3組	15:07 15種目
31	女子	100m	バタフライ	無差別	T決勝	3組	15:14 17種目
32	男子	100m	バタフライ	無差別	T決勝	3組	15:20 19種目
競技終了予定							15:26

競 技 役 員

審判長	本田 利幸 (登別SC)			
副審判長	嶺野 和夫 (苫小牧水協)			
出発合図員	(主) 本田 奨 (登別SC)	鳴海 智弘 (室蘭水協)	山崎 将 (JSSあいの里)	
泳法審判員	○ 越田 元 (JSS登別)	竹内 博昭 (苫小牧水協)	今井 正彦 (苫小牧水協)	泰地 正紀 (室蘭水協)
折返し観察員	(主) 清原 弘司 (室蘭SP)	(副) 小杉美登里 (登別SC)	(副) 松本留美子 (アプロス白老)	
	藤原 達雄 (伊達JSC)	鳴海 明 (室蘭水協)	堀 和江 (白老水協)	今 丈朗 (アプロス沼ノ端)
	阿蘇 隆史 (JSSあゆみ)	新井 義典 (浦河少年団)	児玉ちづる (黒松内SC)	高田 大誠 (ふらっとSC)
	清水 学弥 (アプロス沼ノ端)	渡邊 健太 (アプロス日新)	元山 修一 (寿都SC)	井原 優作 (JSSあいの里)
記録員	(主) 早勢 順一 (苫小牧水協)	※ 小林由希子 (登別SC)	※ 安藤美枝 (登別SC)	
機械審判員	(主) 居原田紫世 (ほのスポ)	村岡 弘幸 (登別SC)	高谷 桂輔 (イトマン宮の森)	
(映像担当)	(主) 高田 雄輔 (白老水協)	金澤 竜太 (Apkas)	高御堂 洗生 (JSS清田)	
コンピュータ係	松崎 貴夫 (東洋電子システム)			
計時員	(主) 伊藤 準一 (室蘭水協)	(副) 吉嶋 由佳 (伊達水協)		
	※ 中嶋 圭乃 (登別SC)	※ 辺見 由香 (登別SC)	※ 吉田 未希 (登別SC)	※ 酒井 早苗 (登別SC)
	※ 酒井 晃 (登別SC)	※ 佐藤 明日香 (登別SC)	※ 田中 美樹 (登別SC)	※ 荒関 睦 (登別SC)
	※ 伊藤 麻理子 (登別SC)	※ 水島 郁子 (登別SC)	※ 安藤 暖 (登別SC)	※ 水島 彪雅 (登別SC)
速報係	(主) 土屋 伸二 (登別SC)			
招集員	(主) 切石 貴子 (白老水協)	大和 鈴 (イトマン札幌麻生)	※ 小松 瑞夏 (室蘭水協)	※ 千葉 涼 (ふらっとSC)
	※ 安藤 暖 (登別SC)			
通告員	(主) 本田 輝 (登別SC)	松谷 智子 (白老水協)		
賞典係	(主) 松前 洋子 (登別SC)			
救護係	本田 絢菜 (看護師)			
救助員	室蘭水上安全赤十字奉仕団 (後藤道弘、中村千恵子、原田康子、高橋優愛)			
競技役員係	※ 福地 伸一 (登別SC)	※ 松井 かつえ (登別SC)		

※運営(研修)役員(無資格)

会場・アリーナ全景



駐車場

